

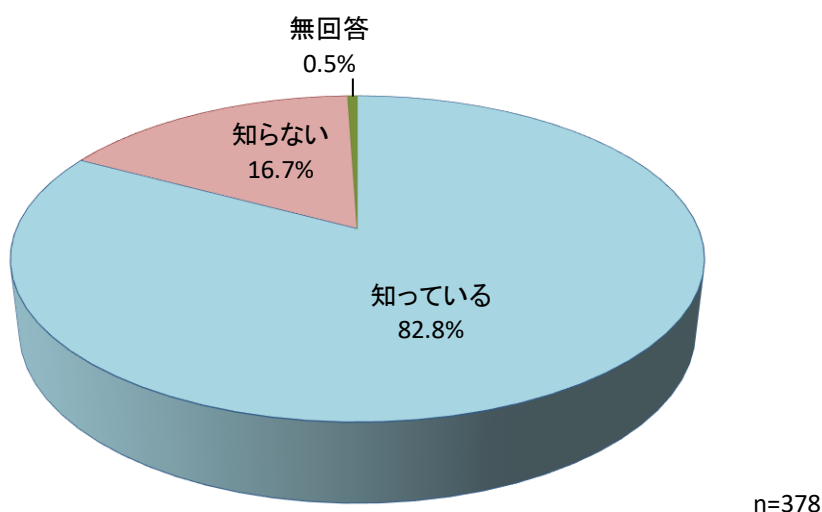
19. いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会について

(1) 栃木県で国体が開催されることの認知度

◇ 「知っている」が8割強

問72	あなたは、栃木県で国体が開催されることを知っていますか。	(○は1つ)
		n=378
1	知っている	82.8%
2	知らない	16.7%
	(無回答)	0.5%

<図IV-19-1>全体



栃木県で国体が開催されることの認知度については、「知っている」が82.8%、一方、「知らない」は16.7%であった。(図IV-19-1)

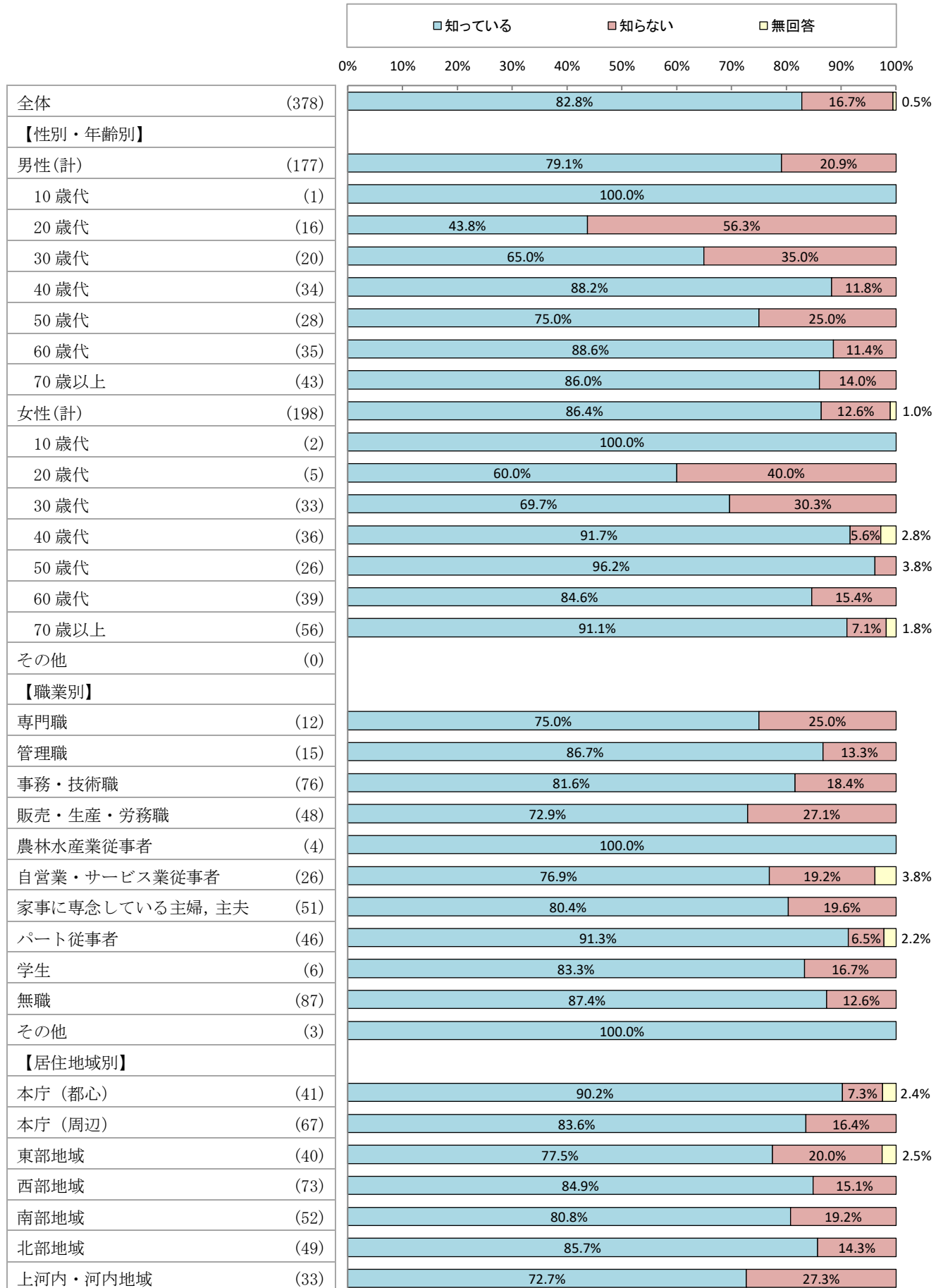
<参考>

性別・年齢別で見ると、「知っている」は<男性/10歳代>、<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が96.2%と続いている。一方、「知らない」は<男性/20歳代>が56.3%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が40.0%と続いている。(図IV-19-2)

職業別で見ると、「知っている」は<その他>を除くと<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<パート従事者>が91.3%と続いている。一方、「知らない」は<販売・生産・労務職>が27.1%で最も高く、<専門職>が25.0%と続いている。(図IV-19-2)

居住地域別で見ると、「知っている」は<本庁(都心)>が90.2%で最も高く、次いで<北部地域>が85.7%と続いている。一方、「知らない」は<上河内・河内地域>が27.3%で最も高く、次いで<東部地域>が20.0%と続いている。(図IV-19-2)

<図IV-19-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別

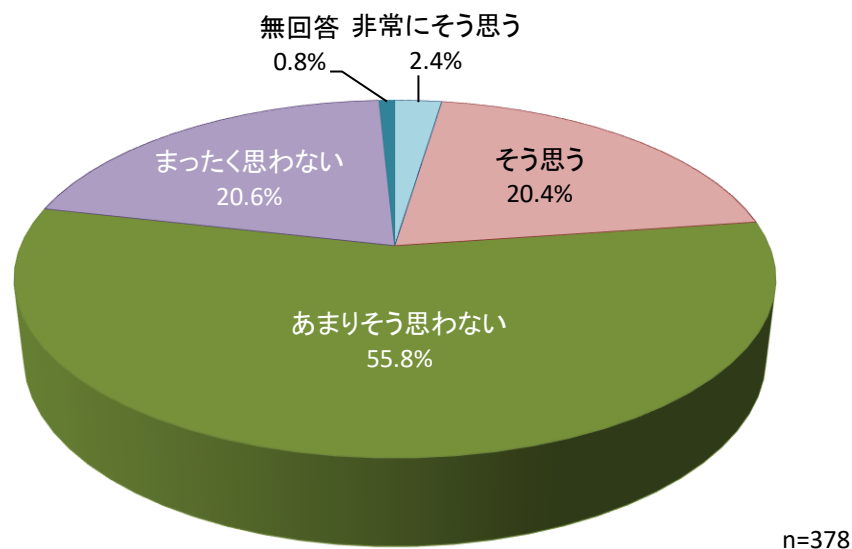


(2) とちぎ国体へボランティアとしての参加意向

◇ 「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせた【そう思う(計)】が2割強

問73	あなたは、ボランティア活動（花いっぱい運動・環境美化活動など）で、とちぎ国体に参加したいと思いませんか。	(○は1つ)	n=378
1	非常にそう思う		2.4%
2	そう思う		20.4%
3	あまりそう思わない		55.8%
4	まったく思わない		20.6%
	(無回答)		0.8%

<図IV-19-3>全体



とちぎ国体へボランティアとしての参加意向については、「非常にそう思う」が2.4%、「そう思う」が20.4%で、これらを合わせた【そう思う(計)】が22.8%であった。一方、「あまりそう思わない」55.8%、「まったく思わない」20.6%で、これらを合わせた【思わない(計)】は76.4%であった。(図IV-19-3)

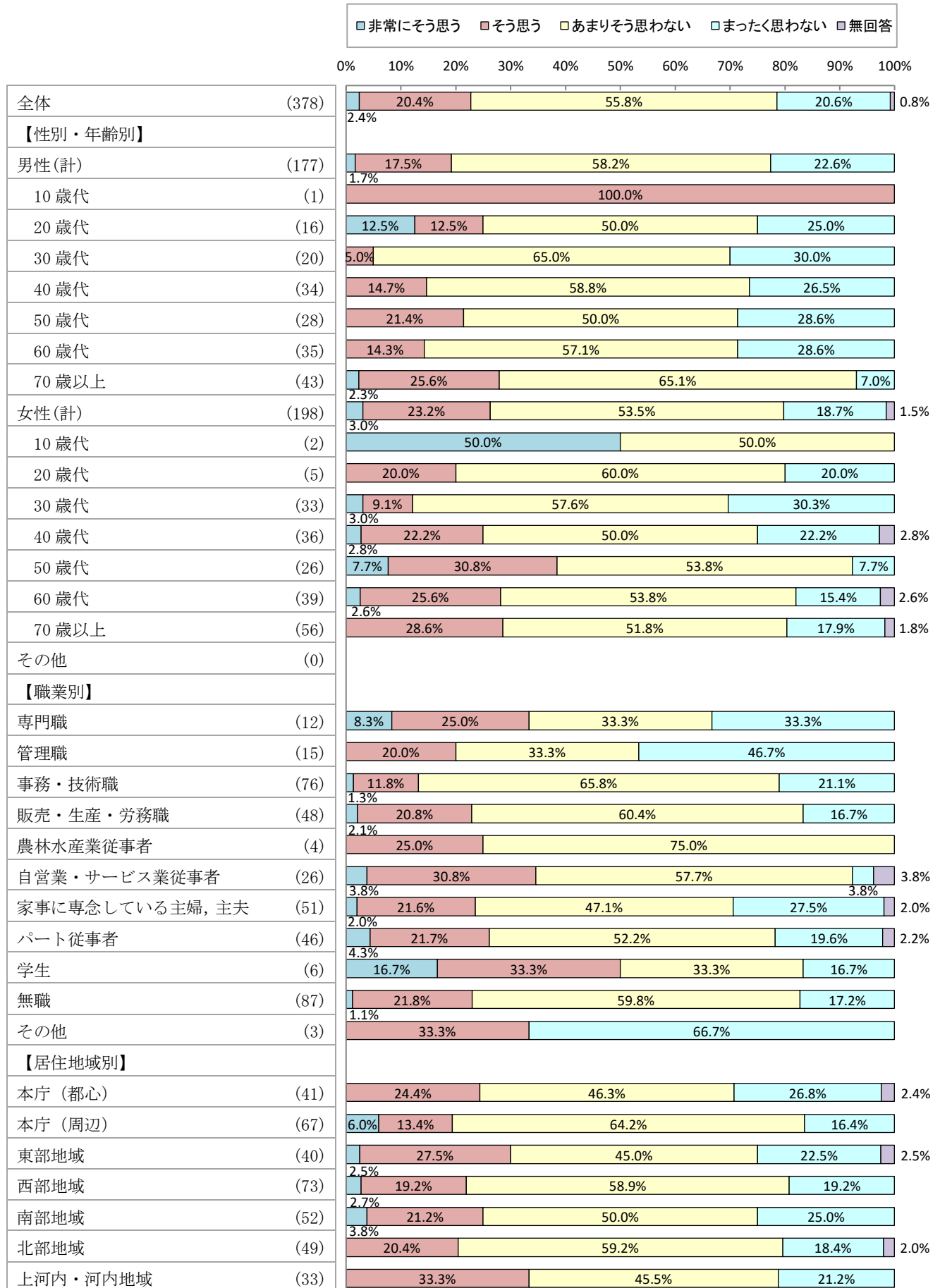
<参考>

性別・年齢別で見ると、【そう思う(計)】は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/10歳代>が50.0%と続いている。一方、【思わない(計)】は<男性/30歳代>が95.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が87.9%と続いている。(図IV-19-4)

職業別で見ると、【そう思う(計)】は<学生>が50.0%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が34.6%と続いている。一方、【思わない(計)】は<事務・技術職>が86.9%で最も高く、<管理職>が80.0%と続いている。(図IV-19-4)

居住地域別で見ると、【そう思う(計)】は<上河内・河内地域>が33.3%で最も高く、次いで<東部地域>が30.0%と続いている。一方、【思わない(計)】は<本庁(周辺)>が80.6%で最も高く、次いで<西部地域>が78.1%と続いている。(図IV-19-4)

<図IV-19-4>性別・年齢別／職業別／居住地域別

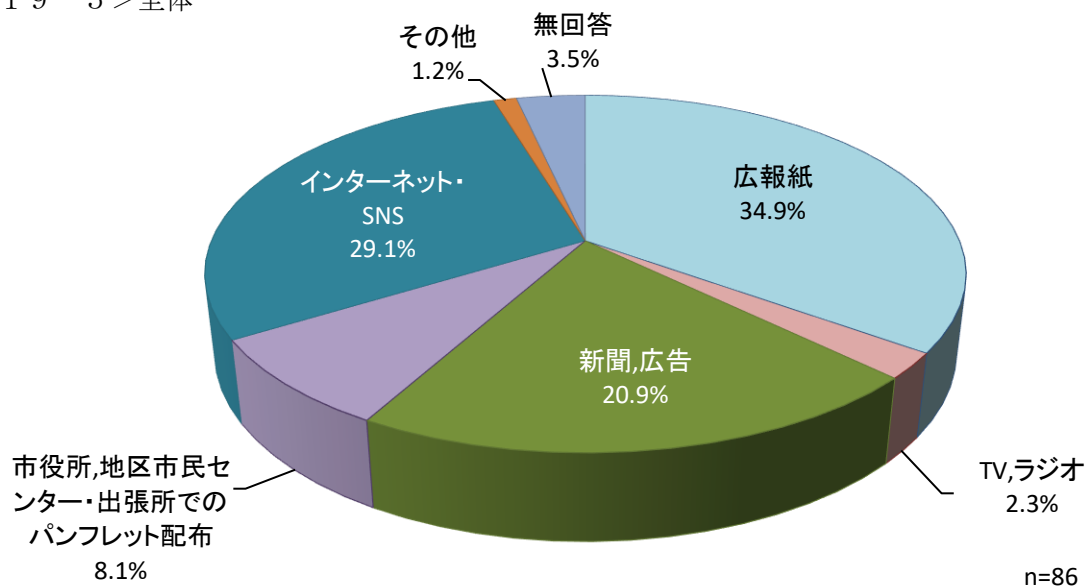


(3) ボランティア情報の入手方法

◇ 「広報紙」が3割半ば

問74	問73で「1 非常にそう思う」「2 そう思う」と答えた方にお聞きします。あなたがボランティア情報を得るには、どのような方法が情報を得やすいですか。	(○は1つ)
		n=86
1	広報紙	34.9%
2	TV,ラジオ	2.3%
3	新聞,広告	20.9%
4	市役所,地区市民センター・出張所でのパンフレット配布	8.1%
5	インターネット・SNS	29.1%
6	その他	1.2%
	(無回答)	3.5%

<図IV-19-5>全体



ボランティア情報の入手方法については、「広報紙」が34.9%で最も高く、次いで「インターネット・SNS」が29.1%、「新聞,広告」が20.9%であった。(図IV-19-5)

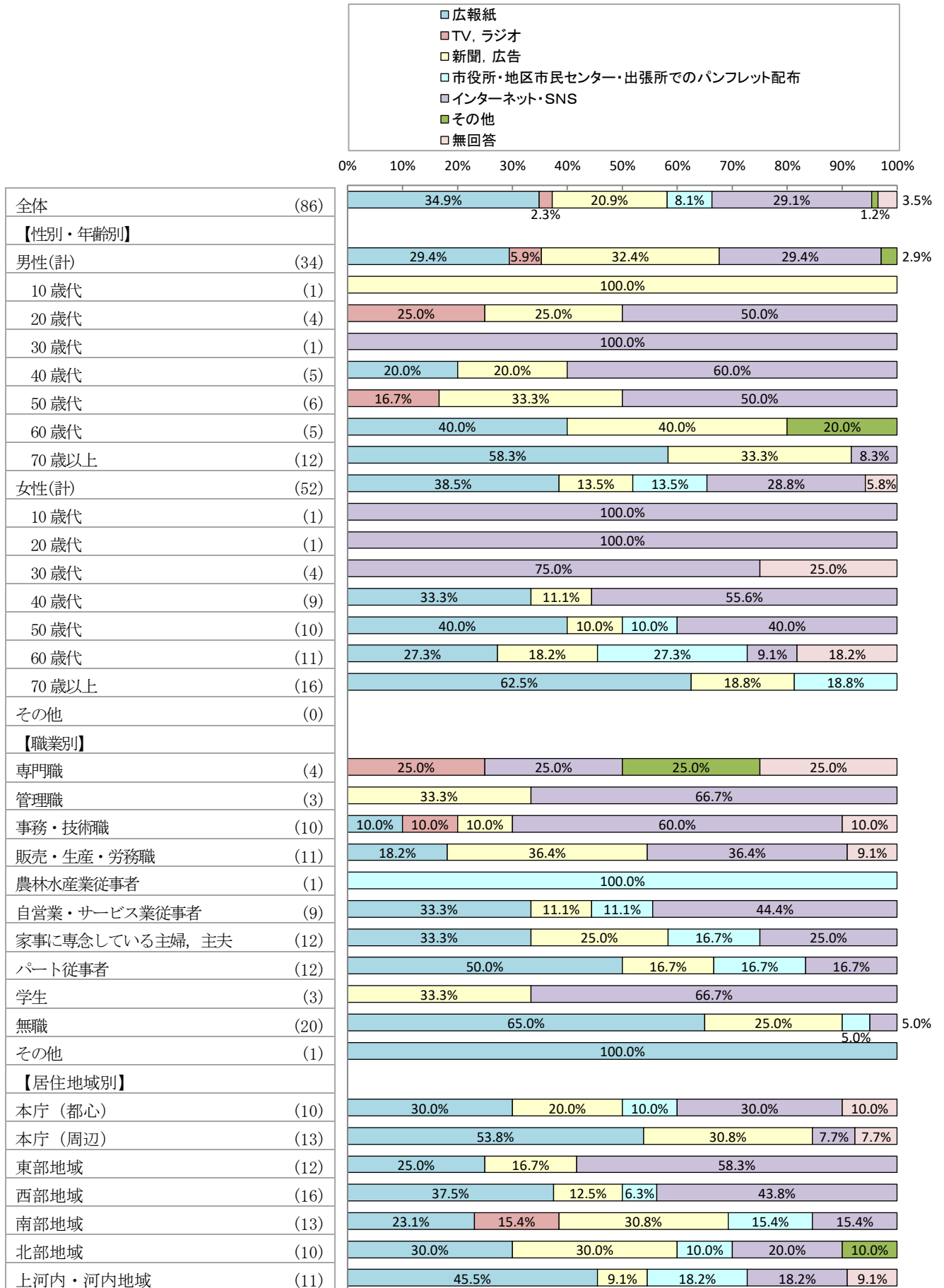
<参考>

性別・年齢別で見ると、「広報紙」は<女性/70歳以上>が62.5%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が58.3%と続いている。「インターネット・SNS」は<男性/30歳代>、<女性/10歳代>、<女性/20歳代>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が75.0%と続いている。(図IV-19-6)

職業別で見ると、「広報紙」は<その他>を除くと<無職>が65.0%で最も高く、次いで<パート従事者>が50.0%と続いている。「インターネット・SNS」は<管理職>、<学生>がいずれも66.7%で最も高く、<事務・技術職>が60.0%と続いている。(図IV-19-6)

居住地域別で見ると、「広報紙」は<本庁(周辺)>が53.8%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が45.5%と続いている。「インターネット・SNS」は<東部地域>が58.3%で最も高く、次いで<西部地域>が43.8%と続いている。(図IV-19-6)

<図IV-19-6>性別・年齢別／職業別／居住地域別

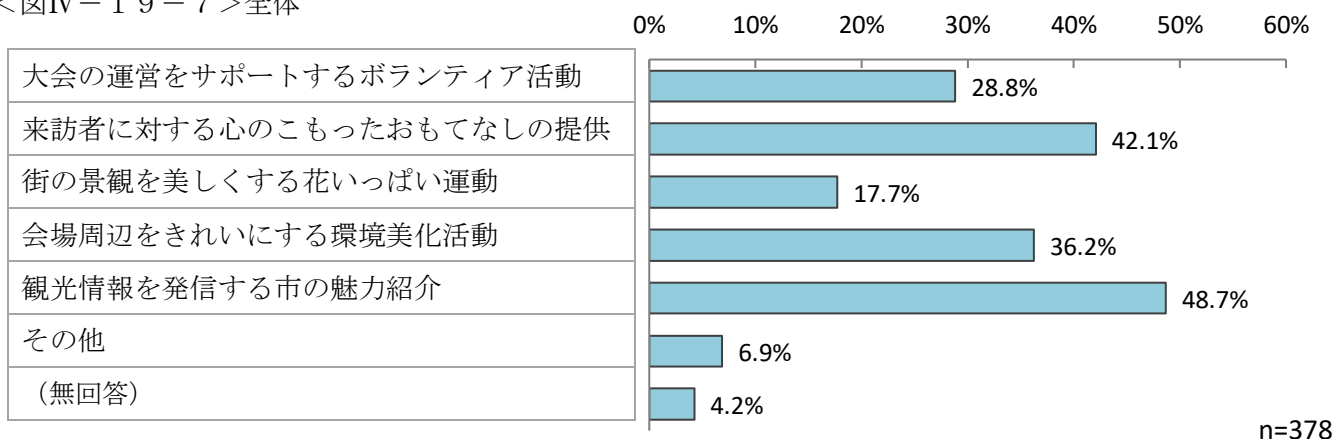


(4) 国体を盛り上げるために重要だと思うこと

◇ 「観光情報を発信する市の魅力紹介」が約5割

問75	あなたは、多くの大会参加者・観覧者が来訪する国体を盛り上げるために、何が重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)	n=378
1	大会の運営をサポートするボランティア活動	28.8%
2	来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供	42.1%
3	街の景観を美しくする花いっぱい運動	17.7%
4	会場周辺をきれいにする環境美化活動	36.2%
5	観光情報を発信する市の魅力紹介	48.7%
6	その他	6.9%
	(無回答)	4.2%

<図IV-19-7>全体



国体を盛り上げるために重要だと思うことについては、「観光情報を発信する市の魅力紹介」が48.7%で最も高く、次いで「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」が42.1%と続いている。(図IV-19-7)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が58.3%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<女性/60歳代>が56.4%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が53.8%と続いている。(図IV-19-8)

職業別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<農林水産業従事者>が75.0%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が65.4%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<家事に専念している主婦、主夫>が49.0%で最も高く、<販売・生産・労務職>が47.9%と続いている。(図IV-19-8)

居住地域別で見ると、「観光情報を発信する市の魅力紹介」は<東部地域>が60.0%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が54.5%と続いている。「来訪者に対する心のこもったおもてなしの提供」は<本庁(都心)>が56.1%で最も高く、次いで<西部地域>が46.6%と続いている。(図IV-19-8)

<図IV-19-8>性別・年齢別／職業別／居住地域別

